10年20年後の結城市をどうデザインするのか

昨年、結城市5つ分の農地がなくなっている!



永塚　英恵
（ながつか はなえ）

録画映像はこちら

結城市総合計画について

第6次後期基本計画の前期との違いと更新内容を伺います。

企画財務部長　計画の進捗を図る指標及び目標値を、これまでの主要事業単位での設定に加え、取組の方向性や体系を具体的に示した基本施策についても設定を行い、達成状況を成果志向で評価できる仕組みとした。

ベースとなる将来人口推計の手法や基準年度は。

企画財務部長　「国立社会保障・人口問題研究所」による平成29年の推計値を参考とし、「結城市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けた各種施策・事業を実行し、人口の減少を可能な限り抑えた場合の目標人口を設定している。

計画の進捗状況の確認と内容の担保は。

企画財務部長　毎年、ローリング方式により、事業内容や規模について検討を行う計画期間3年の実施計画の策定と、主要事業の前年度の成果について、評価・検証を行う行政評価を実施している。

農業振興地域整備計画、地域計画について

地域計画について今後の展望は。

経済環境部長　地域計画及び目標地図については、話し合いの場を設け、完成度や実現性を高めており、今後も地域農業の実情に応じて随時見直しや更新を行い、より実効性のある計画としていく考えである。

都市計画マスタープラン、立地適正化計画について

現在進行中の第2次結城市都市計画マスタープランの今後について。

都市建設部長　現在、第6次総合計画後期基本計画等と整合を取りながら改訂作業を行っている。特徴として、旧庁舎跡地利活用、駅北側の活性化、空き家・防犯対策、市街化調整区域の立地基準緩和等を盛り込む予定である。今後、県への意見照会や、パブリックコメントの実施、都市計画審議会から答申を受けたうえで、令和9年3月に改訂する予定である。

※一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。